

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		東京都立府中療育センター通園				公表日	令和8年 3月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	・人数によって、パーテーションで部屋を調整している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	3		・曜日ごとの利用状況の違いを踏まえ、柔軟な運営や支援体制の工夫に取り組んでいる。 ・職員一人ひとりの強みを活かしながら、チームで補い合うことで、安定した支援の提供に努めている。 ・基本は親子保育を大切にしつつ、複数の視点で見守りを行うことで、安全確保と安心できる保育環境づくりに配慮している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	2	・構造化は基本1対1でしていくと思うが、同じ部屋で動くことが多いので、部屋数の限りもあり難しいが、工夫して行っている面が多い。 ・保育室内は、子どもたちが過ごしやすい環境を整えている。	・親子での通園という特性を踏まえ、保護者の持ち物や準備された教材に配慮しながら、児の安心につながる関わりや環境面での工夫を大切にしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	・登園前、登園後で保育室や通園内の消毒、安全管理をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	・個別に対応する時など、個々の状態に応じて、保育室やきょうだい室などで対応している。 ・落ち着かない時には各部屋を活用しながら、気分転換を図れるようにしている。		
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	2	・月1回の業務検討会等で検討している。 ・各種会議のほか、クラス担任同士や児童発達管理責任者を交えて、情報共有したり、日頃に支援の確認を行っている。	・支援の目標やアプローチについて、職員間での共有を大切にしながら、より分かりやすい形で全体像を整理していく必要性を意識している。 ・振り返りの場においては、多様な考えや感じ方を尊重し、誰もが安心して意見を発信できる雰囲気づくりを継続的に心がけている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	・いただいたご意見は通園内で話し合い、反映が難しいこともあるが、業務改善できる点についてはその都度行っている。		

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	・定期的に業務検討会を行い、各職員が議題を持ち寄り、通園内で話し合いや情報共有の時間を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	1	・第三者評価機関等、対策が必要な場合は、職場内で周知し、改善点を検討している。	・一部の項目については慎重な取り扱いが求められる内容もあるため、段階的に整理しながら、改善に向けた検討を継続している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	・必要に応じて研修会に参加している。	・研修の機会は一定程度確保されており、内容についても現場のニーズを踏まえながら、より実践的で子ども一人ひとりの保育内容の検討につながる形となるよう工夫の余地があると感じている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	・個別療育計画を作成し、保護者と確認している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	1	・保護者の希望を踏まえ、計画書を作成している。 ・療育意向アンケートを通じて、保護者や通園児のニーズを把握して、担当が作成した支援計画を児童発達支援管理責任者ならびに、児に関わる職員が内容について確認し、支援にあたっている。	・アセスメントは継続的に実施しており、今後は目標の把握に加えて、通園に対する期待や安心して過ごせる環境など、より丁寧にニーズをくみ取れるよう意識を高めていく必要性を共有している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	・通園内で会議をしながら、情報共有している。 ・ケース会議を通して、通園児について情報共有し、より適切な支援について共通理解を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	・通園生活を通して、個々により必要な支援を行っている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2		・子どもの適応行動については、一人ひとりの発達段階や状況を丁寧に捉えながら支援を行っており、現状に応じた評価のあり方を大切にしつつ、必要に応じた手法の検討を行っている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	2	・それぞれの項目について目標を設定している。	・保護者の意向を丁寧に受け止めながら、施設としての支援方針とのすり合わせを大切に、相互理解を深めていくことを意識している。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	・通園全体で、療育年数や年齢に応じたクラスの保育の進め方を確認し、日常のプログラムは担任同士で相談し、立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	・季節の行事など、いろいろな経験できるようにプログラムを検討している。 ・意図としてプログラムを固定化していることもある。保護者に向けては意図を説明し、通園児とあそびの繰り返しを楽しんでもらえるようにしていく必要を感じている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	1		・個別活動については対象児の状況を踏まえながら実施しており、現在は目標を意識した支援を行っているが、今後は計画書への反映も含め、より体系的な整理を進めていく必要性を共有している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	・担任や他職種との連携を密にしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	2	・当初計画・中間計画・評価といった計画評価を作成し、担任間で確認を行いながら支援の方向性を共有している。 ・すべて必須ではないものの、必要に応じて柔軟に計画や評価の確認を行う体制を取っている。	・振り返りについては、今後の実施に向けて必要性を共有しており、支援の質向上につなげるための仕組みづくりを検討している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	・日々の個人を作成している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	・必要な関係機関とモニタリングしている。 ・ケース会議、通園内での計画書の共有など、各児の必要時期に応じて行い、見直しをしている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	・必要に応じて、関係機関と会議を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	・必要に応じて、訪問・見学し、情報共有に努めている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	・お子さん、また保護者によって、支援方法はまちまちではあるが、必要に応じて、担任もしくは児童発達支援管理責任者が丁寧に対応している。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	・学校からの個別の書類を作成している。		
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11	0	・連絡会に参加したり、必要に応じて関係者会議を開く、電話連絡を行うなどの取り組みを行っている。		

関係機関や保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	10	1	・外部の研修会にも参加している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	4		・必要に応じて会議等へ参加しつつ、医療福祉相談室の職員と連携しながら、専門性を活かした支援体制を構築している。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	0	・保育所交流を実施している。	・コロナ感染症の位置づけ移行を受け、これまで実施できていなかった保育園との交流を再開することができた。 ・次年度に向けては、交流の機会をより計画的に設定し、安定した実施につなげていきたいと考えている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	・親子通園ということもあり、保護者とは情報共有を密にしている。 ・面談だけでなく、日頃の活動場面を通じて、保護者と情報共有を行い、適時適切なアドバイスができるように心掛けている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1	・通園職員に加え、多職種へも協力を依頼し、それぞれの専門性を活かした勉強会を実施している。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	・児童発達支援計画の作成にあたっては、こどもや保護者の意思を尊重し、面談等を通じて意向を丁寧に確認し、こどもの最善の利益を優先した計画づくりに努めている。	・児童発達支援管理責任者に相談しながら支援計画を作成しており、専門性を活かした連携体制のもとで進めている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	・計画書に関しては、児童発達管理責任者が説明をして、同意を得ている。 ・年に3回(計画書の発行に合わせて)児童発達支援管理責任者との面談の機会を設け、保護者に説明し、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	・定期的に面談を行っている。 ・担任との面談の機会を年2回設けており、その他、必要に応じて、助言や支援を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行事などが良い機会になっていると思う。 ・親の会は保護者の都合もあり、終了となった。活動の中で、通園職員が介入して、保護者同士が交流する機会を設けたり、家族参観・運動会などの行事を通して、きょうだいが交流できる機会を設けている。 ・父母の会こそありませんが、同じクラスの保護者同士が交流できるような場面設定は行っています。また、行事などできょうだいが集まる機会には仲立ちし、交流を促しました。 	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	2	<ul style="list-style-type: none"> ・通園だより、センターだよりを発行している。 ・園だよりを通じて、通園のクラスの様子をお伝えしている。 	・ホームページを活用して通園の活動を紹介しており、今後はより定期的な情報発信に向けて更新方法の工夫を検討している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	・個人情報は、施錠し保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係に努めている。 ・お子さんとは身振りやサインなどを使ってコミュニケーションを図ることがある。また外国籍の保護者にはポケトークなどの媒介を使用し、情報共有や伝達を行うなど、工夫している。 	・意思疎通が難しい子どもについても、個々の特性に応じた関わり方を検討しながら、丁寧な配慮を心がけて支援に取り組んでいる。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	2	・センター全体の行事ではあるが、センター祭りを行っている。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回防災訓練をしている。 ・感染症対策については、資料をお渡しし、保護者にも周知し、予防を徹底してもらっている。 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	・保護者にも周知し、月1回避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	・アンケートで確認し、通園担当看護師を含めて、情報共有し、必要に応じてお預かりしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを取って確認している。 ・アンケートを基に、管理栄養士と共に確認し、必要に応じて、医師の指示書に基づく対応をしている。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	・緊急対応訓練、嘔吐処理訓練など、通園職員間で安全管理について共有している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	・インシデントレポートを作成し、原因、対策を検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0			